

令和5年信越支部 秋の技術研修会 実施報告

信越支部研修部長 綿貫英紀

研修副部長 小栗潤一郎

10月16, 17日の2日間「ピアノの音ってなんだろう 倍音・音色・ピアノ技術」と題し、関東支部より(株)クオルピア代表の倉田尚彦氏を講師にお迎えして全国統一企画研修会と支部研修を合わせた技術研修会を開催いたしました。研修会参加者は1日目が35名、2日目が29名、配信のみの希望者が26名と支部所属会員の6割近くの方が参加頂いたこととなります。

前述のとおり、今回の研修会も先進的に支部で実施している講義の映像投影とWeb配信をするため動画収録をしながらの講義となりました。研修会に参加できなかった支部会員も後で配信される動画で研修会当日の様子を観覧できて有意義だと思います。

研修会ではPCアプリを使用して、ピアノ、バイオリン、クラリネット等の楽器の音の倍音を音的にも視覚的にもわかりやすく捉えた資料を見聞きしながら解説。硬化剤についてレシピを公開し使用方法についても細かく教えていただきました。またアクション整調、整音について倉田氏の経験に基づいた考え方や手法をいくつもお紹介くださいました。会場に研修用として用意されたグランドピアノは氏の調整によってみるみるうちに音が変わっていき、研修会が終了するころにはとても良い音のピアノに生まれ変わっていました。氏の「自分が変わらなければピアノも変わりません。」というお言葉が印象に残りました。

以前まで信越支部では秋に2日間寝食を共にしての合宿形式で研修会を行うのが恒例となっておりましたが、コロナ渦によりしばらくその形式での開催ができなかったため今回は久しぶりの合宿形式での開催となりました。1日目終了後の夜には懇親会も行われ旧交を温めました。

今回は全国統一企画研修会と支部研修会を合わせた効果的な研修方法だったと思います。今後も継続的に全国統一研修会の実施が検討されるようなので、支部としてはぜひ活用してさらに魅力的かつ有意義な研修会を開催してまいりたいと思います。